腰部脊柱管狭窄症・腰椎椎間板ヘルニア　入 院 診 療 計 画 書　年　月　日

整形外科　患者ID：　患者氏名：

月日	/ ～ /	/	/	/	/	/	/
経過	入院日～手術前日	手術日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後7日目～	術後11日目
検査		・手術終了後にレントゲン撮影し帰室します	・採血を行います		・採血を行います		退院予定
治療	・コルセットを作成します（外来で） ・内服薬は入院時に看護師へお渡しください	手術室に行く前に点滴開始、腰にマーク付けをします。全身麻酔で手術を行います。輸血が必要になることもあります。手術後、血液を排出するため、傷口に管が入ります	・点滴を行います →	→	→	・創部の抜こうを行います	
安静度	・特に制限はありません 	・ベッド上安静にしていてください ・身体の向きを変える際は看護師が介助します	・コルセットを装着します ・看護師、リハビリスタッフ見守りのもと、ベッドに腰掛けたりベッドサイドに立つことが可能です ・リハビリ開始 →	・傷口の管が抜けたら自力でベッドに腰掛けたりベッドサイドに立つことが可能です	・車椅子、歩行器で移動可能です		
食事	特別な栄養管理の必要性有・無	・手術前は絶飲食となります ・手術後は許可がでたら飲水・食事を再開します。串刺食となります	・起き上がれるようになれば普通食または治療食へ戻します				
清潔	・ご自宅で入浴を済ませて来てください	・看護師が介助し清拭します	・看護師が介助し清拭します	・看護師が介助し清拭します	・看護師が介助し清拭します	・抜こうした翌日からシャワー浴が可能です	
排泄		尿：手術室で尿道に管を入れます 便：ベッド上排泄となります。オムツまたは差し込み便器にて対応します	尿：尿道に管が入っています状態に応じて管を抜きます 便：オムツまたは差し込み便器にて対応します	・傷口の管が抜けたらトイレでの排泄が可能です			
説明	・全身状態を調べて手術可能であり、ご家族の承諾が得られれば手術加療となります。手術加療になった場合、手術前日または前々日に手術の説明をすることがあります。手術、麻酔承諾書にサインし、その日のうちに看護師に提出してください。 ・医師の指示で、コルセットが必要になる場合があります。その場合コルセットの採型を装具屋さんが行います。（コルセットの代金、手続きなどはコルセット採型時に説明があります）	ご家族の方は、手術開始時間より前に病室までおこしください。手術前日に看護師から説明があります。 手術終了後、医師より手術についての説明がありますので病室でお待ちください	前もって準備して下さい ・リハビリ用の靴 			退院後の生活の準備の際に不安を感じた際はご相談してください 	退院間近になったら少しずつ荷物の整理をお願い致します

退院後の療養の注意点

1　日常生活の注意事項
- ・コルセットは退院後も装着してください
- ・特に転倒に注意してください
- ・自宅でも自分でもできるリハビリテーションを続けましょう

2　以下の症状がある時は受診してください
- ・激しい痛み
- ・足のしびれの悪化
- ・患部の熱感
- ・患部からの浸出液がある

予約票をお渡しします。
プラスチックの診察券で受け付けしてください。
予約票は、外来窓口に提出してください。
土日・祝祭日・夜間は休診ですが、診察が必要な場合は救急外来で対応致します。
退院後、具合が悪い、調子が悪いなど病状に関して心配な場合は下記に電話し取次先を指定してください。

大崎市民病院
0229-23-3311

平日　8:30～17:00　→　整形外科
診療時間外　→　救急外来
患者様のお名前・症状・手術した月日・何の手術をしたのかなど、詳しくお話ししてください。
忘れ物のお問い合わせ
→　入院された病棟へお願いします

◎入院時、本紙を忘れずに持参してください。また退院時までこの用紙は大切に保管してください。
注1　病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めて行くに従って変わり得るものです。
注2　入院期間については現時点で予想されるものです。

2020年6月改定

担当医師　　担当看護師　　患者様サイン